

1 学校法人河原学園 河原デザイン・アート専門学校

2 平成 30 年度 学校関係者報告書

3
4 学校関係者評価委員会

5 日時:9月28日 17時~19時

6 会場:河原デザイン・アート専門学校 202 教室

7
8 出席者:大石 保美 様(在校生保護者)

9 熊谷 沙彩 様(卒業生)

10 株式会社ナナサン 代表取締役 仙波 秀喜 様

11 株式会社建築資料研究社 日建学院 松山校 村川 嘉幸 様

12 漫画家:朱子 すず 様

13 未来高等学校 進路課 佐藤 卓也 様

14 河原デザイン・アート専門学校 校長 白石 隆保

15 河原デザイン・アート専門学校 教頭 露口 武志

16 河原デザイン・アート専門学校 教務主任 徳永 将規

17 河原デザイン・アート専門学校 教務主任 越智 晃浩

18 河原デザイン・アート専門学校 教務 伊藤 龍平

19 就職キャリア支援センター 室長 富久 重信

20
21 委員会次第

22 ① 各委員会紹介

23 ② 学校長挨拶

24 ③ 議長選任

25 ④ 自己点検項目と評価

26 ⑤ 平成 29 年度の取り組みと改善点報告前回会議趣旨と結果報告(評価項目の数値報告)

27 ⑥ 意見公開

28 ⑦ 閉会

29
30 平成 29 年度自己点検項目と評価

31 (1) 教育理念・目的・人材育成像

32 ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか

33 ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

- 34 ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など周知がなされているか
- 35 ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

36 **【評価】**

37 学園の「学是」、「学園理念」、「教育方針」に沿い、「教育理念」、「教育方針」、「指導目標」において
38 育成人材像並びに職業教育の特色が示されている。また、学生の手引き等で学生に対して教育理念
39 等を明文化し、周知徹底が図られている。学外に向けては、HPで公表されている。

40

41 **(2)学校運営**

- 42 ・目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 43 ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 44 ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか
- 45 ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか 等

46 **【評価】**

47 本校最高責任者である校長のもと、教頭が学校運営全般の実務責任者として役割を担い、そのもとに
48 教務課、事務局を設置している。全教職員が参加する教職員会議を月 1 回定期的に開催し、学校運
49 営や教育活動等における意思決定機関としている。また、校内教務会議を週 1 回開催し、運営方針に
50 沿った事業計画の実施状況と検証、修正計画の策定を行っている。公印・文書管理簿、物品購入業
51 務等も適切に行われている。文書発信簿、物品在庫管理等は整備が不十分だった点はほぼ改善さ
52 れたが、さらに徹底していく必要がある。

53

54 **(3)教育活動**

- 55 ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 56 ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学
57 習時間の確保は明確にされているか
- 58 ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 59 ・授業評価の実施・評価体制はあるか
- 60 ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 61 ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 62 ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

63 **【評価】**

64 各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラム作成・学習プロセスの改善・業界ニーズの取り
65 込み・教員の資質維持や向上に向けた取り組み・教育環境の整備活用等は計画的に進められている。
66 特に、教育課程編成委員会による業界・企業からの意見を取り入れ、企業や地域と連携した活動(別

67 紙「平成 29 年度教務実績・基本指標」9 参照)を複数実施し、職業実践的な学習機会を設けている。

68

69 (4)学修成果

70 ・就職率の向上が図られているか

71 ・退学率の低減が図られているか

72 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

73 【評価】

74 在学率、退学率、出席率、卒業・進級率、履修判定試験合格率、資格取得率(コア資格・付帯資格)、
75 就職内定率については目標値に対して実績確認ができています。目標値から大きくかけ離れたものは
76 ないが、目標値に達していない項目もある。平成 29 年度は、特に、退学率を大幅に改善させることが
77 できた(別紙「平成 29 年度教務実績・基本指標」1 参照)。教務の組織的な学生指導に加えて、学園
78 本部教務を含めたスクールカウンセラーによるカウンセリングを適切に実施した結果である。

79 【委員からの意見】

80 ・退学についても合う合わないもあるのである程度は仕方がない部分もあるのではないかと。離職率に
81 ついては、学校で学んでいることが現場と離れていることが多く、イメージが異なっていることがあるた
82 め、内定後フォローでギャップをなくしていく必要があるのではないかと。

83 ・理想と現実のギャップも辞める要因が多いため、基本のみならず基本に肉付けしていくことで少しで
84 も現実に近づけることができるのではないかと。

85 ・企業も 50 名以上になるとストレスチェックを導入している場合があるため、定期的にストレスチェック
86 すればよいのではないかと。

87

88 (5)学生支援

89 ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか

90 ・学生相談に関する体制は整備されているか

91 ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

92 ・保護者と適切に連携しているか

93 【評価】

94 在校生への経済面(学納金減免、奨学金等)、生活面(学生寮等)、健康面(定期健康診断等)につい
95 ては支援内容が具体的で充実している。また、保護者との連携、卒業生に対する支援も適宜行われ
96 ている。就職面については、就職希望者分における 3 月末就職内定率が 100%できている。また、そ
97 の支援環境は整っており、教務・就職キャリア支援センターの支援システムが確立され順調に実施さ
98 れている。今後は、さらに各学生の能力に見合い、将来への希望をもった就職ができるような体制を
99 確立していく。

100

101 (6) 教育環境

102 ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

103 ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか

104 ・防災に対する体制は整備されているか

105 【評価】

106 施設・設備等は、設置基準の基準を満たしている。インターンシップ先については、県外企業も含め
107 て連携先を増やし、学生の希望に沿う実習先を手配できている。

108 【委員からの意見】

109 ・対人関係を学ぶ講座があればよいのではないか。

110 ・卒業後もカウンセラーを利用できれば、独自で判断をすることを防ぐことができるのではないか。

111

112 (7) 学生の受入れ募集

113 ・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか

114 ・学生募集活動は、適正に行われているか

115 ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか

116 ・学生納付金は妥当なものとなっているか

117 【評価】

118 入学選考のための組織と文書・書類管理については規定通り行われている。また、募集活動について
119 は、十分に情報提供が行われている。学納金等は同分野の他校や地域性から判断して妥当な金額と
120 判断する。

121

122 (8) 財務

123 ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

124 ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

125 ・財務について会計監査が適正に行われているか

126 ・財務情報公開の体制整備はできているか

127 【評価】

128 消費収支計算書関係比率、貸借対照表関係比率とも、専修学校全国平均を上回る水準で推移して
129 おり、問題のない状態である。

130

131 (9) 法令等の遵守

132 ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

133 ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

134 ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

135 ・自己評価結果を公開しているか

136 【評価】

137 学校法人の管理運営は国の定める法規、学校管理運営については学則やその他の規則・規定にお
138 いて定められたとおりである。個人情報の保護については「就業規則」及び「個人情報の保護に関す
139 る規則」等が定められ、教職員・学生・保護者に啓発、周知されている。キャンパス・ハラスメント防止に
140 ついても就業規則に細かく定められている。

141

142 (10) 社会貢献・地域貢献

143 ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

144 ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

145 【評価】

146 社会や地域に開かれた学校を目指し、校舎や設備などの施設、指導者や学生などの人材といった教
147 育資源を活用した社会貢献・地域貢献、また日頃の学修成果をいかした学生のボランティア活動に積
148 極的に取り組み、社会や地域に貢献できている。更に、それぞれの分野特性を生かして、専門領域に
149 おける社会貢献の機会を設けている(別紙「平成 29 年度教務実績・基本指標」9 参照)

150

151 今後の取り組み

152 〈デジタルデザイン科〉

153 ・専門性の高い実践的な指導と遠隔授業

154 映像制作企業に技術指導を依頼し、企業連携学習として、企業の VP を制作するプロジェクト
155 を計画。協力企業は現在、道後のホテルと交渉中。ホテルの魅力を映像で PR していく。一連
156 の流れを映像制作企業、従事者に適宜アドバイスをもらい、実務同様に進行していく。ドロー
157 ンを使った空撮映像なども交え、学生のさらなる技術を高める。

158 【委員からの意見】

159 外に出る機会もあり、企業と触れる機会も多いと思う。ただ、本人はとても楽しそうであるが、非常に忙
160 しいように感じる。

161

162 〈グラフィックデザイン科〉

163 ・松山市商店街連盟から依頼を受け、松山市内にある 16 箇所の商店街のポスターを作成中。また、イ
164 ベント期間中に各商店街をまわるスタンプラリーとポスター総選挙(人気投票)も実施予定。

165 ・クリエイターズクラブ愛媛と連携した授業を今年度から全 30 回に拡大。平成30年度は 1 年後期～2

166 年前期の約1年間にわたって実施予定。計11名の講師に最大3回の授業を実施予定。

167 **【委員からの意見】**

168 実際の仕事につながることもできていると思うため、引き続き取り組んでいただければと思います。

169

170 〈漫画クリエイター科〉

171 ・2ヶ月に1回のペースで出張編集部を実施。6/5 NHN comico、6/23 週刊少年サンデー、8/18 グ
172 ランドジャンプ、10/27 別冊フレンド・月刊マガジン、12/15 ヤングジャンプ ほか

173 ・第9弾 LINK「未来に広がれ！愛媛の挑戦」と題して、砥部動物園、愛媛オレンジバイキングス、FC
174 今治、自転車用ヘルメット着用運動を取材して漫画化。原稿が完成後、広告依頼を行い今年度発刊
175 予定で実施中。

176 **【委員からの意見】**

177 Link とは別で自費製本して、コミティアなどで出店して販売してはどうか。漫画のみならずグッズとかイ
178 ラストとかでもよいのではないか。

179

180 〈インテリア・建築デザイン科〉

181 ・「愛媛県私立専修学校地域を担う人材育成事業」として補助金を利用して雨を集める仕掛けを学生
182 が考え、実際に制作して設置まで行う。「雨を集めて五感で楽しむ仕掛け」と題して、グループに分か
183 れて企画提案を実施中。今後、スカイプを使用し遠隔授業として実施し、12月末プレゼン予定。

184 **【委員からの意見】**

185 楽しく将来に向けて学んでいけるのではないかと思う。二級建築士の難易度も上がっていているた
186 め協力できたらと思う。